

あなたの口頭発表をより魅力的でインターアクティブにする方法

2019年3月22日から24日まで開かれる国際協同教育学会（IASCE）の台北大会「東アジアと世界の協同学習：卓越性の獲得と持続」での発表について、IASCEは発表者に口頭発表をできるだけ聴衆を巻き込みインターアクティブにするように望みます。もしあなたが口頭発表をされるなら、4つの基本原則をぜひお考え下さい。

原則1：発表は、明確で、単刀直入に、そして聴衆を巻き込みましょう。

- ◆ 発表は原稿を読み上げたり、知っていることを全部伝えたりするものではありません。むしろ、あなたの研究やプロジェクトのトピックについて聴衆と分かち合ったり交流したりするために、情報やあなたの経験を使いましょう。
- ◆ あなたの研究・プロジェクトについて聴衆がもっと知りたいと思うように、2、3の主たるポイントを強調しましょう。（つめこみすぎない。）
- ◆ 統計分析の細かいことやプロジェクト実施の詳細はあなたの論文の読者にゆだねましょう。もし、あなたの発表の聴衆であなたの研究のデザインや分析をもっと知りたいという人がいたら、発表時間外に会うように誘いましょう。
- ◆ あなたの発表をあなたらしいものにしましょう。その研究・プロジェクトが自分にとってなぜ大切なのかを聴衆に知らせましょう。もし、パワーポイントやその他のプレゼンテーションソフトウェアを使用する場合には、長々とした文章を表示しそれを読むということは避けましょう。各スライドにはいくつかの大切な語または1～2文だけを載せましょう。通常、28ポイント以上（図表でも20ポイント以上）のフォントを使い、最大でも7行以内に収め、書かれた情報を読みやすくしましょう。変化をつけるために文の代わりに絵・図やグラフを使いましょう。
- ◆ IASCEの大会には通常約30か国から参加者が来ます。発表は英語ですが、みんなが英語を母国語とするわけではない、ということ覚えておいてください。
- ◆ 「時間切れ」にならないように計画しましょう。最低でも異なった二人の人の前でプレゼンを練習し、スライドや発表のペースを調節できるようにしましょう。ゆっくり話すように心がけましょう。
- ◆ 「あなたが言うことはスライドに書いてあることと一字一句同じではない」という基本的ルールに従いましょう。
- ◆ 発表の最後にあなたの発表の主要ポイントを要約しましょう。あるいは聴衆に要約してみるよう投げかけてみましょう。

原則2：協同学習の技法を使いましょう。

発表の中で協同学習の技法を使用すると、IASCEのメッセージ（協同学習）と私たちがそのメッセージを伝える方法がうまくマッチします。協同学習を使う方法には：

- ◆ 聴衆にあなたの生徒があなたの授業で行うのと同じようなアクティビティに参加する機会を与えましょう。インターアクションによって言語化のプロセスを促進することは私たちの大会の核心です。
- ◆ 聴衆に（発表内容や結果の）予測をするよう頼みましょう。すべき課題や答えるべき質問を与えましょう。
- ◆ 聴衆に、隣の人とペアになって、次のことをするようにリクエストしましょう。
 - ・ 自分が疑問に思ったことを尋ねる。
 - ・ 意見を言う。
 - ・ 発表のポイントについて、一緒になって理解したり議論したりする。
 - ・ あなたの発表に関連した自分の経験を話す。
 - ・ なぜあなたの発表を聞こうと思ったのかを互いに話す。
- ◆ 発表の最後だけでなく、発表の最初や途中でもインターアクションの機会を持つように計画する。
- ◆ トピックについて簡単なアンケートに手短かに答えてもらう。
- ◆ 参加者に休み時間に自分に話しかけるよう勧める。つまり、セッション後にあなたとの会話を継続する。

原則3：英語が誰もの母国語ではないことに留意しましょう。

この大会には世界中から、様々な英語のレベルの方やアクセントのある人が参加します。もし英語があなたの母国語ではないとしたら、そのことがあなたにも聴衆にも特別なチャレンジであるということを私たちは理解しています。IASCE 理事会は、発表者がより効果的に発表することをサポートすることを大切だと思っています。あなたのアイデアは今大会への最も大切な貢献です！セッション責任者は必要に応じて全参加者のコミュニケーションを促進するように働きます。発表者は以下のことを考えることによって聴衆とのコミュニケーションを向上させることができます。

- ◆ 原則1で述べたように、あなたの重要な考えを伝えるのに、注意深く作成された視覚表現方法（パワポなど）を使う。
- ◆ みんながあなたの発表についてこられるようにゆっくりと話せるよう発表練習をする。
- ◆ 英語で発表をするのに不自由するようであるなら、だれかに通訳を頼むか大切なポイントを伝えてもらうように頼む。
- ◆ 発表中は自分の国や地方に特有な言い回しを使わないように気を付けましょう。聴衆はその表現に慣れていないかもしれないので。

原則4：リラックスして楽しみましょう。

IASCE の大会に参加する人は好奇心が強く、親切です。その人たちはあなたの言うことを聞きたいからあなたのセッションに来たのです。

(2018, 3 IASCE)